



# つるのおんがえし

丸坊主だった私が「つる」と呼ばれるようになって、30年超。そんな「つる」があなたに「おんがえし」をします。

## 新しい一年、 最速の一年です



早くもひと月が経過しましたね。これから時代がどんどん変化していくと方々で聞くと、実際に目に見えるほどに早くて、まあビックリリポンの時代になったもんです。こんにちには、スマップの元6人目の方に今更、話を聞いてみたい！芦川永光です。朝トラは明治維新



比々多神社で、新年のご祈禱をしてきました!! 会社の商売繁盛と、今年40歳の前厄だったので厄払いです。今年もいい一年になりますように。

後の物語ですが、ストーリー展開もかなり早く進んでますよね。70年周期でみたら同じような時代周期だから共感もあるし、感情移入もできるし、早い展開にも付いて行けるんだんだなあって思います。

## さるどし、大衆 二黒土星



私が毎月登壇をし、世界規模の事業構想を語っている世界

会議の中で、とても興味深く聴いていた話があります。今年一年がどのような年となっていくか、未来予測とも言える、今年を象徴つけるような話です。今年の干支は、丙申(ひのえさる)。九星気学であれば、二黒土星(じこくごせい)と位置付けられる2016年は、自らの活動に大衆を巻き込むと良いとされる一年だそうです。あ

ちなみにこれは古いと時流、両方見てのお話ですので、どうかフラットに聞いてください。ね。そして一つの強者、トップが

業界・世界を引っ張っていく時代から、そのトップの地位が危うくなる時代へと移り変わりも起こるようです。今日までの準備を、小さくとも地道に進めてきた方にとっては、活発な動きが始まる一年になるんだなあと感じました。

## 自己ベスト 更新の一年に!



正月明けすぐに、こんな魅力的な話題でテンション盛り上がり、今年一年を「人生の自己ベスト更新!」と目標を立てて、鼻息荒く過ごしていると、何だか妙に出てくる芸能界の



スキャンダルや揉め事。トップの地位が危うく...って、例えばこういうことも含まれるのかもしれない。霧に覆われていたことに気づきもしなかった世界から、視野が突然広がってどデカイ山が目の前にあるような。地面の下側にあったことが突然表に出てくるような感覚を受けました。

さて、例年の1・2月だったら気持ちが悪く落ちて、あまりやる気が出なくなる私。今年自己ベスト更新を記録するために、冬眠返上! 体重減少! を目指して、頭も身体も筋力です。布団から出るのおっくうだけど、突然ひっくり返って変わりゆく時代。自分の頭もガラッとひっくり返して、今までの自分を置いてけぼりに出来るくらい早く、より早く動きたいです!

料金後納  
郵便

ゆうメール

株式会社 感動・創庫  
kando-soko  
〒259-1145 伊勢原市板戸 208-103  
TEL: 0463-79-9777  
http://kando-soko.com  
発行編集責任者: 芦川永光

心に響く感動の格言

Words by 小林 正観

小林正観さんは、著述作家。ある先輩から、この方の本がとっても面白いとお聞きして、即購入したところ。「私は神様なんて信じない。だが、どうも神様はいるらしい」なんてことをおっしゃる、この方。「ありがとう」という言葉が代名詞のようで、お名前をググると次に来るワードはやっぱり「ありがとう」。

本を読まれた先輩曰く、「ありがとうと感謝って違うんだってよ」と、意味深なお言葉。私がそれを理解できた時、神に少しだけ近づけるのでしょうか(大笑)

人に感謝する  
心に入らぬ  
と意図するよりも  
「感謝」を心がけよう  
と、思いたった  
「ありがとう」の  
大切さを改めて  
思うようになった

この正月恒例と言いますのは、大晦日から始まるお正月特有の過ごし方があります。年末は妻の実家大和市にあるお家へお邪魔するのですが、紅白歌合戦をずーっと見ているお茶の間に居るのに飽きてきて、夜9時くらいになると外へふらり出かけてしまふんですね。そうして向かいま

「死」を意識するこの中で  
男は強くなる  
里中 李生(著) / 総合法令出版  
この本ね、今の自分のコンディションにぴったりでした。一分一秒、結



正月恒例は、読書です。昨年は忙しすぎて、ほとんど本を読めませんでした。そう、昨年もお正月にまとめて何冊か読んで、あとの360日間で5・6冊読んだだけ。まあその分、感覚重視で取り組んだ一年でした、と言っておきましょうか。

レジバンガードが入ってるんです。このお店、私は大好きでして、とってもマニアックな本、マニアックな漫画、さらにマニアックなおもちゃやCDなどが置いてある、まあ子供心に火がつく、とっても面白いお店なんです。そこで買いましたのは4冊。これを三が日で一気に読みとったんですが、この中でとても刺さった一冊がこれ。

構無駄にしてきたなああと途中後悔がこみ上げてきました。身近な玉ねぎで表現していることで、とても想像しやすい。キャッチコピーがいいですね。グッときました!!

編集後記

お正月は、読書でした



涼子の  
気になっちゃう  
広告!

文庫本(出版社)の広告



新潮文庫  
「スマートホン」

一瞬「え??」と思った広告です。スマートな本、電子書籍のことですね。スマートフォンで、本が読めるってことなんだと思います。面白いキャッチコピーです。

角川文庫  
「最後までめくっていたら、涙があふれていました。」



この広告、私は好きです。説明するまでもありませんが、本を読む「めくる」と、感動して「涙」。身近な玉ねぎで表現していることで、とても想像しやすい。キャッチコピーがいいですね。グッときました!!